

## 放送部全国大会出場決定

去る6月7日(木)と8日(金)の両日、第65回NHK全国高校放送コンテスト沖縄県大会が開催され、本校放送部がラジオドキュメント部門優良賞、研究発表部門優秀賞、テレビドキュメント部門最優秀賞に輝き、研究発表部門とテレビドキュメント部門で全国大会に出場することが決定しました。同大会の6年連続全国大会出場に学校中が歓喜に包まれています。

ラジオドキュメント部門優良賞の「知ってる？モールス信号」は、本校総合学科情報系列で学んでいる(県内で唯一!)モールス信号について、その成り立ちや、学んでいる生徒たちの思いを取材し、モールス信号の面白さを広めたいという思いから作成したものです。

研究発表部門優秀賞「編集のピンチを乗り越えろ！」は、放送部が抱える問題について、その解決法を共有しようという同部門での共通のテーマで、本校では、放送部で使用していた編集用パソコンの2台のうち1台が壊れてしまったことがあり「あのとき、もしこの1台も壊れてしまった場合はどうする？」という素朴かつ重大な局面への対応を考えました。

テレビドキュメント部門最優秀賞「シラヒゲウニを救え！」は、本校総合学科海洋生物系列で取り組んでいるシラヒゲウニの完全養殖研究に密着しました。年々個体数が減少しているシラヒゲウニを救うため、生徒たちが日々奮闘している様子を他校の生徒にも見て欲しい!という思いから作成しました。

部長の内村香鈴さん(3-14)は、県大会の反省として「他の学校の番組などを見て、沖水に足りないところなどがわかった」さらに、全国への抱負として「番組制作の編集作業はすべてを悪い方向に思ったり、苦しい時もあるけど、着々と進行する制作過程は充実感が満ちている」として、全国大会は入賞を目指したいとありました。

平良竜太君(3-14)は「番組制作を通して、他系列の生徒や先生方と関わり、プロジェクトを協力して完成させることができよかった。高校生活で最後まで何かをやり遂げた経験はなかったけど、番組を制作して久しぶりにやりがいを感じた」と自分の変化を満足そうに語っていました。

與那覇孝矢君(3-14)は「努力した自信があったので、それが結果につながってよかった」とあり「全国大会では、3年生としてやれることを精一杯頑張りたいと思う。後輩たちにも大会でしっかり学んで欲しい」と力強く優しさにあふれた言葉を使っていました。

顧問の松川奈津稀先生は、2年連続の全国大会出場の快挙にも淡々と「昨年、入賞ができず悔しい思いをしたので、今大会は雪辱を果たすことのみを考えています。入賞を目指すのみです」と、司令官のすごみを感じさせる一言でした。

全国大会は7月23日から26日にかけて東京のNHKホールで行われます。沖水は文化系も強いのです。是非、栄冠を勝ち取ってほしいものです。

出場生徒：伊敷幸愛(3-12)、内村香鈴(3-14)、與那覇孝矢(3-14)、  
仲島姫梨香(3-15)、金城里佳(2-7)、上原万衣香(1-1)

海邦丸五世位置

6月18日(月)正午

だいたいこの辺です。

